

平成 27 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2015

Date:2016 年 3 月 18 日

言語社会専攻長

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Language and Society

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座 講師
氏名 Name	福田 義昭
専門分野 Academic Field	アラビア語・アラブ文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	(1) 近代エジプト文学における「祖国」表象 (2) 戦前・戦中期の在日ムスリム・コミュニティ
<p>テーマ (1) に関する研究活動の一環として、下記の公開講演会のパネルディスカッションにおいて、エジプトの現代文学、とくに作家ナギーブ・マハフーズの小説世界を中心に「越境」のあり方を議論した。</p> <ul style="list-style-type: none">・公開講演会「トルコ文学越境」(早稲田大学、主催：中東現代文学研究会、科研費(基盤研究B)「現代中東における「ワタン(祖国)」的心性をめぐる表象文化の発展的研究」(代表：岡真理)、共催：早稲田大学イスラーム地域研究機構、マグレブ文学研究会)(2015年6月20日) <p>また文学関連では、第2回国際アラブ小説賞(2009年)を受賞したエジプト人作家ユースフ・ザイダーンによる長篇小説『アザゼル』の抄訳紹介および解説を行った(中東現代文学研究会編『中東現代文学選2015』に収録予定)。</p> <p>テーマ (2) に関しては、以下の二つの発表を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・「昭和期の日本文学における在日ムスリムの表象」日本中東学会第31回年次大会、同志社大学(2015年5月18日)・「神戸とトルコ・タタール人——エルトゥールル号事件から第二次世界大戦後まで」Uluslararası Ertuğrul'un İzinde Deniz Kuvvetleri ve Diplomasi Sempozyumu(国際シンポジウム「エルトゥールル号と海軍外交」)Deniz Müzesi, Beşiktaş, Turkey. (2015年9月16日) <p>また、前者の発表の一部を拡充し、以下の論文として発表した。</p> <ul style="list-style-type: none">・「昭和期の日本文学における在日ムスリムの表象(1)——東京・朝鮮篇」『アジア文化研究所研究年報』(東洋大学アジア文化研究所)第50号(2015)、2016年2月、91(256)–69(278)頁	